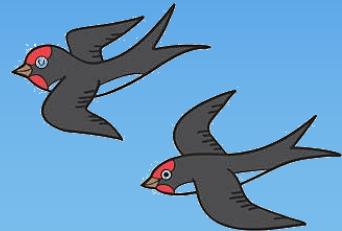
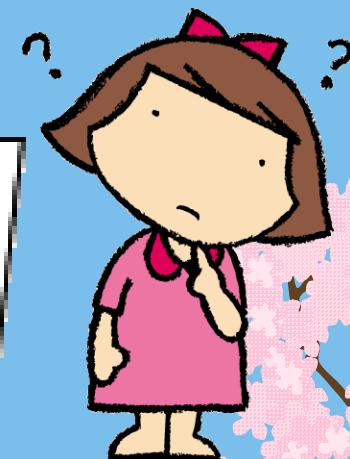
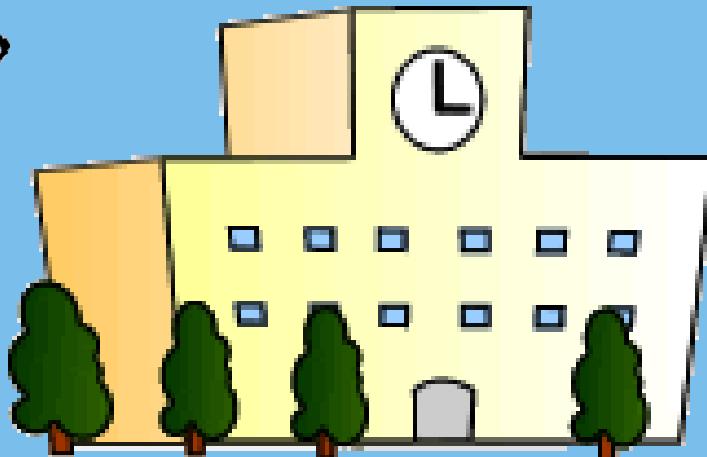
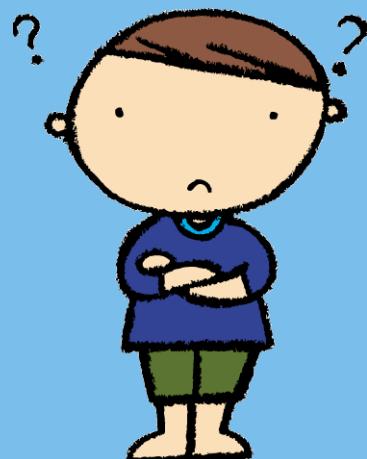


Q&A

クイズで知る

宮竹小学校

令和2年度版





# 宮竹小学校の歴史を知ろう



Q1. 明治6年(1873)、宮竹小学校の最初の学校が出来たが、それまで(江戸時代)宮竹小学校区内に寺子屋(学習塾)があったか？

1. 灯台笹区や宮竹区など  
数か所にあった
2. 宮竹区にだけあった
3. 宮竹小校区内にはなかった

## Q1. 解答

1. 灯台笹区や宮竹区など  
数か所にあった
2. 宮竹区にだけあった
3. 宮竹小校区内にはなかつた
  - 宮竹区では医師の中村信吾が正林寺で開いた。ほかに  
岩内区、灯台笹区にもあった。



正林寺旧本堂

Q2. 最初に宮竹区に開校された小学校の名前は？

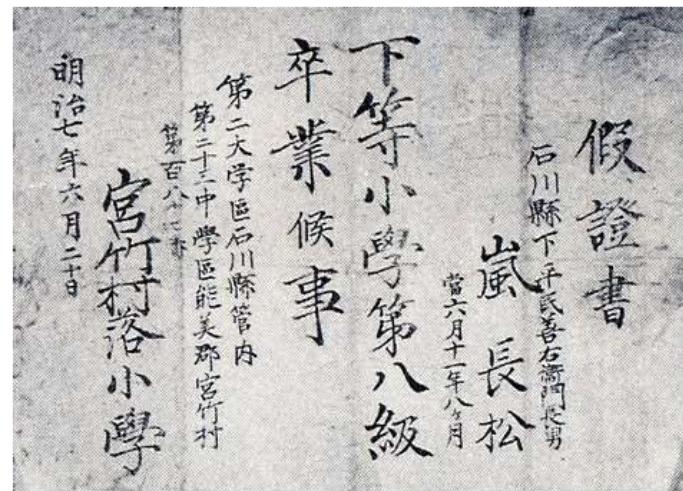
1. 宮竹尋常小学校
2. 宮竹村落小学校
3. 正明小学校

## Q2. 解答

1. 宮竹尋常小学校

2. 宮竹村落小学校

3. 正明小学校



宮竹村落小学校卒業証書

- 3年後の明治9年(1876)に正明(せいめい)小学校に改称、その際、灯台笹区に拠知(かくち)小学校、岩内区に水哉(すいさい)小学校が開設されている。

Q3. 明治時代の初め頃の小学校の子ども達のようすで正しいのは？

1. 多くの子どもたちは子守りをしながら通学した。
2. 子ども用の椅子はなくて正座をして勉強した。
3. 男子のみが通学した。

## Q3. 解答

- 多くの子どもたちは子守りをしながら通学した。
- 子ども用の椅子はなくて正座をして勉強した。
- 男子のみが通学した。

- 「三ツ口小学校の思い出」 宮本ふで(1955年当時73歳)

先生は男3人、女1人(金沢の人で松田宅に下宿)。自由就学で2、3年で多くは退学。長椅子に二人ずつ座って勉強。昼食に干鰯を焼いた。通学は、風呂敷が普通で、皮鞄を持っていた私は男のようだと笑われた。男女とも、子どもを背負ってくる子は珍しくなく、子どもがぐずると外へ出て遊ぶ。



子もり姿(灯台笠小学校)

Q4. 明治18年(1855)に、宮竹区、灯台笹区、岩内区に  
あつた小学校が統合されて出来た学校名は？

1. 宮竹小学校
2. 三ツ口小学校
3. 岩内小学校

## Q4. 解答

1. 宮竹小学校

2. 三ツ口小学校

3. 岩内小学校

- 明治17年に連合戸長役場が三ツ口に設置され、小学校も開設されている。統合の際、灯台笹区に分教場、和佐谷区に巡回授業所が設置された。



三ツ口小学校跡

Q5. 明治34年(1901)に現在の宮竹小学校の敷地に建設された学校名は？

1. 宮竹尋常小学校
2. 宮内尋常小学校
3. 山上村東尋常小学校

## Q5. 解答

1. 宮竹尋常小学校
2. 宮内尋常小学校
3. 山上村東尋常小学校



宮竹での最初の校舎(明治34年)

- 明治22年(1889)宮内村(ほぼ現在の宮竹小学校区)誕生。
- 明治33年(1900)宮内尋常小学校に改名。児童数256名(職員5名)。
- 明治41年(1908)山上東尋常小学校に、明治44年(1911)宮竹尋常高等小学校に改名。



明治34年校舎記念樹の松？

## Q6. 明治35年(1902)の宮内尋常小学校の児童の就学率は?

1. 約70%

2. 約80%

3. 約90%



## Q6. 解答

1. 約70%

2. 約80%

3. 約90%

- 学齢児童(対象児童)340名中不就学児童56名(男子13名、女子43名)で、就学率は男子94%、女子は80%であった。その年の全国の小学校就学率は約91%(男子96%、女子87%)。なお明治35年(1902)から2年制の高等科が設置されたが、その年の高等科への進学は宮内校46名中26名(約57%)で、そのうち女は2名であった。



Q7. 大正4年(1912)、宮竹小学校は、あることで石川県知事賞を受けている。それは？

1. 珠算教育の推進
2. 害虫駆除
3. 植林作業

## Q7. 解答

### 1. 珠算教育の推進

学校農園？



### 2. 害虫駆除

### 3. 植林作業

泥んこ田植え作業(北國新聞記事)



- 春には、5,6年の児童は修学旅行をとりやめて黒穂病にかかった麦の穂を採集している。この年、宮竹区の能登善六から約80坪の農地の提供を受け学校農園を設置している。地域の農業とのかかわりは様々な形で展開され、田植えや稻刈りなど現在も継承されている。

Q8. 大正3年(1914)、初めての保護者の授業参観が  
行なわれている。この時の組織された会は？

1. 母姉(ぼし)会
2. 父兄(ふけい)会
3. 親御(おやご)会



## Q8. 解答

1. 母姉(ぼし)会

2. 父兄(ふけい)会

3. 親御(おやご)会

- 授業参観のあと講堂で「懇話会」が開かれ、校長の「学校の子供」をはじめ、「まじめな話」「電気の世界」「かみなり」などの演題で数人の教員の講演が行われている。出席者は250余名で、ほとんどの母親が出席している。



Q9. 大正5年(1916)3月の卒業写真は、例年と違うスタイルで撮っている。その場所はどこか？

1. 宮竹区の区長宅の庭
2. 宮竹小学校の校庭
3. 学校長宅の庭

## Q9. 解答

1. 宮竹区の区長宅の庭
2. 宮竹小学校の校庭
3. 学校長宅の庭



現在の位置



大正5年の卒業写真

- 大正3年に桜の木が30本植えられ、校庭には池もあったが今はその面影がない。

Q10. 大正11年(1922)、校区の青年団の世話で開催された 競技会は？

1. 魚とり大会
2. 繩ぬい大会
3. 木登り大会

## Q10. 解答

1. 魚とり大会
2. 繩ぬい大会
3. 木登り大会

- 戦前、校区の青年団は映写会や相撲大会、虫送りなどさまざま取り組みを子ども達のために企画、開催している。昔のほとんどの児童にとっては、縄ぬいやコモ編みは手伝い作業としてこなしていた。



Q11. 昭和4年(1929)、敷地が広げられ新校舎が建設された。その時に新しく設置されたのは？

1. 水道
2. 二宮尊徳像
3. ラジオ

## Q11. 解答

1. 水道



昭和4年の校舎

3. ラジオ



二宮尊徳像

- ラジオは昭和7年(1932)に、二宮尊徳像は昭和9年(1934)に設置された。電燈は大正13年に設置されている。

Q12. 昭和14年(1939)、大家久次郎氏(宮竹区)が、校庭に寄付された奉安殿とは何か？

1. 学校の安全を祈願するための祭壇
2. 戦争に勝利するように祈願するための祭壇
3. 天皇陛下の写真や「教育勅語」が納められている祭壇

## Q12. 解答

1. 学校の安全を祈願するための祭壇
2. 戦争に勝利するように祈願するための祭壇
3. 天皇陛下の写真や「教育勅語」が納められている祭壇



奉安殿

- すべての学校に設置された奉安殿や奉安庫の管理規定は厳重であり、学校長の重大な責務であった。児童、職員は登下校時や単に前を通過する際にも、服装を正してから最敬礼するように定められていた。昭和21年8月に取り壊された。

Q13. 昭和15年(1940)、皇紀2600年記念事業として、宮竹小学校高等科の生徒が手取川の河川敷(天狗橋下流)に造ったものは?

1. 食料増産のための報国農場
2. 高等科生徒の軍事訓練場
3. 戦勝祈願のみそぎ場(心身を清める場所)

## Q13. 解答

1. 食料増産のための報国農場
2. 高等科生徒の軍事訓練場
3. 戦勝祈願のみそぎ場(心身を清める場所)



現在の河川敷



報国農場

- 戦争が激しくなると、児童、生徒も勤労奉仕として松根ほり、製塩、干し草づくりなどの勤労奉仕をした。昭和19年には学校の運動場にサツマイモが植えられている。

Q14. 昭和19年(1944)大阪から集団疎開してきた児童はどこに宿泊していたか？

1. 小学校の特別教室
2. 数人ずつ宮竹区の民家
3. 宮竹区の公民館(青年会館)

## Q14. 解答

1. 小学校の特別教室
  2. 数人ずつ宮竹区の民家
  3. 宮竹区の公民館(青年会館)

- 大阪市立高倉国民学校の児童342名が9月16日第一陣として、能美郡内のいくつかの学校に分散して集団疎開してきた。宮竹国民学校へは4年男子27名と6年男子35名である。



## 宮竹へ再訪(北陸中日新聞記事)

## 高倉校疎開一覽

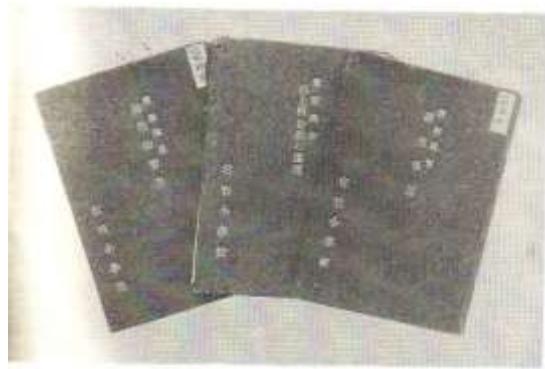
Q15. 昭和23年(1948)8月18日から1週間、石川師範学校(のちの金沢大学教育学部)の教官8名と多くの学生達が、宮竹小学校で合宿をして校区のある実態調査を実施した。それは？

1. 地域に根ざした社会科教育のプランを作成するため
2. 新しい教育制度に対する住民の要望を聞くため
3. 農村に残っている古い制度を改革する意見を聞くため

## Q15. 解答

1. 地域に根ざした社会科教育のプランを作成するため
2. 新しい教育制度に対する住民の要望を聞くため
3. 農村に残っている古い制度を改革する意見を聞くため

- 17冊にまとめられた実態調査に基づく社会科教育プラン(「宮竹プラン」)が作成され、研究授業や検討が行われ、県下の社会科教育のプランづくりの参考にされた。



「実態調査記録」

Q16. 昭和31年(1956)、町村合併で山上村、久常村(一部)、国府村(一部)が統合して辰口町が誕生した。その際、宮竹小学校のことで検討されたことは?

1. 和佐谷区の児童をスクールバスで通学させる。
2. 小学校の校区割全体を見直す。
3. 特に問題にされたことはなかった。

## Q16. 解答

1. 和佐谷区の児童をスクールバスで通学させる。
2. 小学校の校区割全体を見直す。
3. 特に問題にされたことはなかった。

- 町村合併を記念して初めての航空写真が撮影され、全児童が祝賀旗行列に参加した。



町村合併記念撮影

Q17. 昭和38年(1963)、宮竹小学校の子ども会が北陸代表して国(大臣)から直接表彰された出来ごととは?

1. 地区子ども会の取り組み
2. 子ども貯金の取り組み
3. 植林の取り組み

## Q17. 解答

1. 地区子ども会の取り組み
  2. 子ども貯金の取り組み
  3. 植林の取り組み
- 子ども郵便局は昭和27年に設立。35年に郵政局長、36年には石川県知事から表彰されている。昭和38年当時、預金者261名、貯金高1,018,669円(児童一人当たり3,918円)、昭和47年には郵政大臣賞も受けている。



子ども貯金のようす



表彰風景

Q18. 昭和48年(1973)、創立100周年を迎えて新校舎が建設されたが、あわせて行われた記念事業は？

1. プラネタリウムの設置
2. 相撲場の建設
3. 運動場で初の鼓笛バンド

## Q18. 解答

1. プラネタリウムの設置
2. 相撲場の建設
3. 運動場で初の鼓笛バンド



新校舎(昭和48年)



旧校舎取り壊しの中の  
運動会

- 本校卒業生で京都市政や社会教化事業に活躍した中川喜久氏(筋生町出身)が、母校に寄せた基金をもって、校舎5階に天体観測用の独立教室に設置された。当時の県下の小中学校では珍しい施設であった。この年、鼓笛隊も整備されたが、初の鼓笛バンドの演奏は昭和37年に行われている。なお相撲場の建設は昭和49年である。



プラネタリウム